

今回は、関高生による美濃加茂市長へのまちづくり提言&探究活動の報告です。

◇ 空き家バンクの活用に関する事業提案を発表しました！

日時： 2022年5月11日 18:00~19:00

場所： 美濃加茂市役所

参加者： 美濃加茂市長、市役所関係部局担当者 大竹 諒（関高校2年）、関高校職員

テーマ： 空き家バンク制度の活用

昨年度、美濃加茂市の空き家バンク制度に着目し、その活用促進に関する事業提案をまとめた本校2年の大竹 諒さんが、藤井浩人美濃加茂市長や市役所関係部局職員の方々の前で、スライドを使ったプレゼンテーションを行いました。

発端は、大竹さんが美濃加茂市ウェブサイトを通じて、自身の提案を投稿したことに始まります。まもなく美濃加茂市担当部局から連絡があり、藤井市長の前でプレゼンテーションをする機会をいただくことになりました。

藤井市長からは、「堂々と考え込まれたプレゼンテーションに感心させられた。若い世代の素直な考えを市政に反映させると同時に、一緒になって課題解決について考えることができることは大変有意義である」と励ましの言葉をいただきました。

その一方で、課題発見から提案にいたる過程の整合性・論理性に関する適切な助言があり、大竹さんの今後の活動にとっても有益な機会となりました。



◇ かつて中濃地区に存在した旧軍飛行場に関する研究発表を行いました！

日時： 2022年7月1日 18:00~19:00

場所： 美濃加茂市役所

参加者： 美濃加茂市長、市役所関係部局担当者

河路康太・小原和也・渡邊貫太（関高3年・地域研究部）、関高校職員

テーマ： 関飛行場に関する研究

地域研究部では、大戦末期に建設された関飛行場（関市・美濃加茂市・坂祝町）に関する研究を進め、日本考古学協会や徳島県の主催する全国コンクールで表彰されました。さらに研究内容を深めるために、美濃加茂市方面での聞き取り調査が必要であることから、美濃加茂市ウェブサイトを通じて協力を依頼したところ、関係部局から承諾をいただき、広報誌やポスターによる周知を実施する運びとなりました。



あわせて、飛行場研究の現状を、藤井市長に報告する機会もいただきました。

藤井市長からは、「若者の好奇心に火が付いた時、その火を消してしまうことなく、より大きな炎となるようサポートできる環境を整えたい」との励ましの言葉をいただきました。

実際、ポスターや「広報みのかも」などの広報活動によって、複数の貴重な情報を得ることができています。今後の研究に役立てる予定です。